

石清水八幡宮駅周辺 グランドデザイン案

概要版

グランドデザインの策定経緯と目的

策定経緯

石清水八幡宮駅周辺は、かつて石清水八幡宮の門前町として栄え、市の玄関口としての役割を果たしてきました。しかし、現在では人口減少や少子高齢化、乗降客数の減少、店舗閉店などにより地域の活力が低下しています。

一方で、訪日外国人の増加や広域交通網整備などに伴い、八幡市の持つポテンシャルは今後向上していくと考えられます。

このような背景を踏まえながら、市民・事業者・行政等が長期的な視点のもと次世代を見据え、議論をし、まちづくりを進めていくため、市の玄関口にふさわしい駅周辺の目指すべき将来像を示す「石清水八幡宮駅周辺グランドデザイン」を策定します。

グランドデザインの目的

石清水八幡宮駅周辺の道しるべ

「サーチライト」

かつて東高野街道では、沿道にある「道標」が、人々を目的地へ正しく導く手助けをしていました。

そこで、このグランドデザインは、「道標」のように石清水八幡宮駅周辺の将来への道筋を照らし出すサーチライトとなることを目的としています。



まちづくりの方向性

上位・関連計画

門前町等の歴史文化を活かした交流拠点機能

まちの中心にふさわしい商業機能

利用者の利便性を向上する交通結節機能

利用者や周辺住民が集まれるにぎわい空間機能

- ▶ 玄関口としての交流拠点の基盤整備
- ▶ 滞在環境の整備

- ▶ 新しい駅前広場のコンセプト構築
- ▶ 交流を促進する設え、景色、サービス

- ▶ 駅前広場における明確な案内表示
- ▶ 東高野街道の歩行者優先化



地域のポテンシャル



地域の課題



市民の想い



社会潮流と地域の変化

まちづくりの方向性

主なターゲット：周辺住民・八幡市民・来街者

観光

歴史と体験が織りなす
何度でも
訪れたいまち

暮らし

多世代の市民が
豊かに暮らすまち

にぎわい

市民のチャレンジや
子どもたちが創る
にぎわい

交流
滞在

居心地良い
オープンスペースから生まれる
憩いと交流

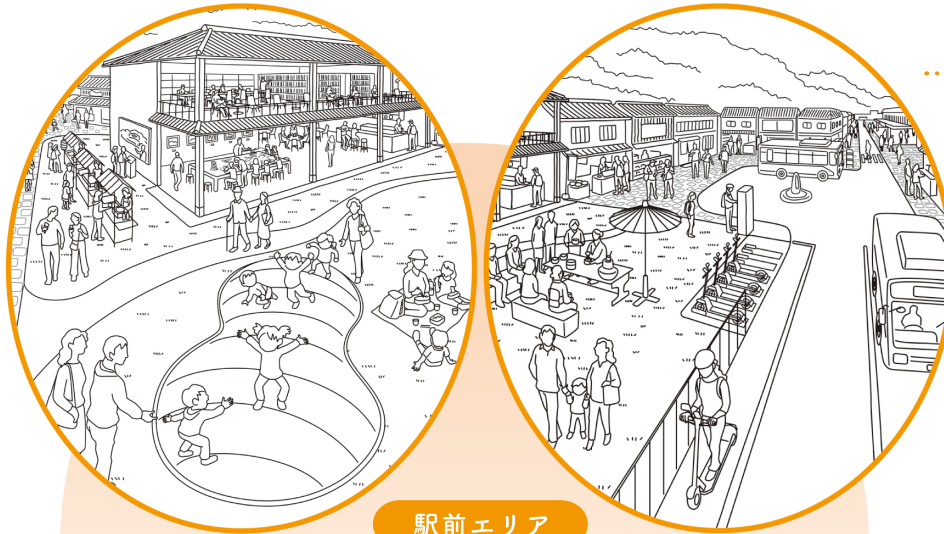
自然
環境

環境に配慮した
持続可能な
自然との共生

交通

交通拠点を起点とした
多様なモビリティ

将来まちで実現したいシーン



駅前エリア

観光・暮らしの コアゾーン

観光

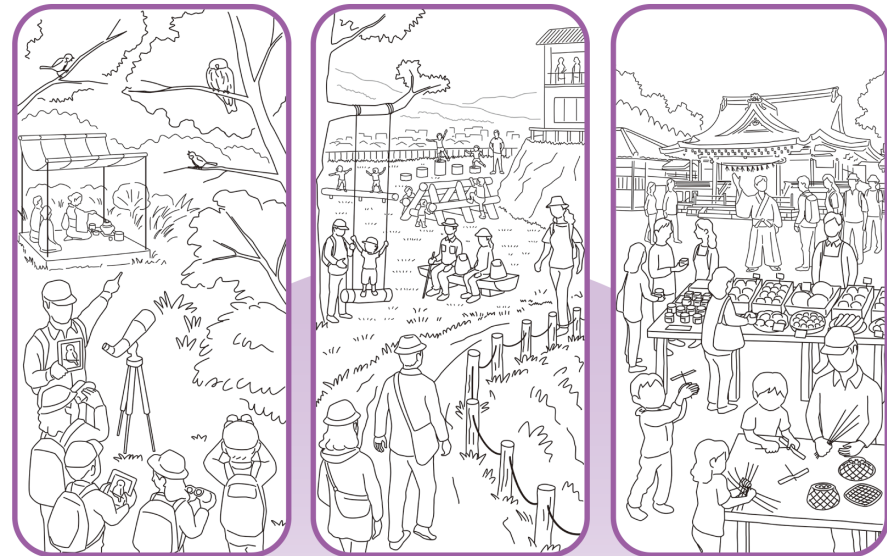
歴史と体験が織りなす
何度でも
訪れたくなるまち

交通

交通拠点を起点とした
多様なモビリティ

暮らし

多世代の市民が
豊かに暮らすまち



石清水八幡宮エリア

歴史と自然ゾーン

観光

歴史と体験が織りなす
何度でも
訪れたくなるまち

自然環境

環境に配慮した
持続可能な
自然との共生

にぎわい

市民のチャレンジや
子どもたちが創る
にぎわい

- 1 多様で上質な店舗が立ち並び、市の玄関口として市の魅力が集積した魅力発信拠点となるイメージ。
- 2 市民の生活の質を向上させる施設（子育て支援施設、コワーキングスペースなど）や、自由に居心地良く滞在できるオープンスペースなど、豊かな暮らし・おもてなしの心を楽しむことができる空間となるイメージ。

自然が近く市民の憩いの場となっている
三川合流地点周辺を含む駅北側エリア

自然共生
アクティブゾーン

観光・暮らしの
コアゾーン

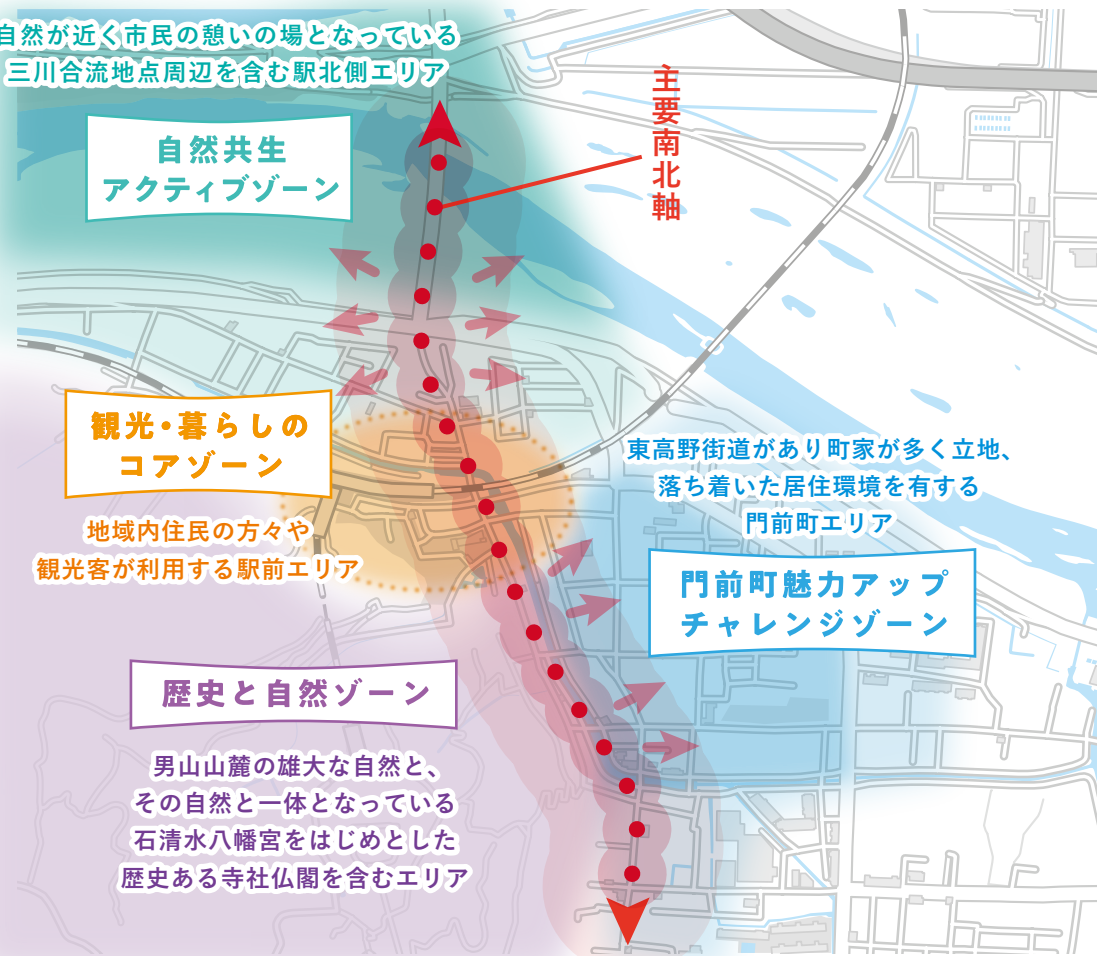
地域内住民の方々や
観光客が利用する駅前エリア

歴史と自然ゾーン

男山山麓の雄大な自然と、
その自然と一体となっている
石清水八幡宮をはじめとした
歴史ある寺社仏閣を含むエリア

- 1 先人たちが受け継いできた歴史や神仏習合のストーリーに加え、男山の自然環境や生態系を学び、未来へ伝承していくための中心となる空間となるイメージ。
- 2 八幡市の顔と言える石清水八幡宮における市民イベントの実施や、石清水八幡宮などの祭事との連携により、より多くの人に八幡の魅力が伝わる空間となるイメージ。

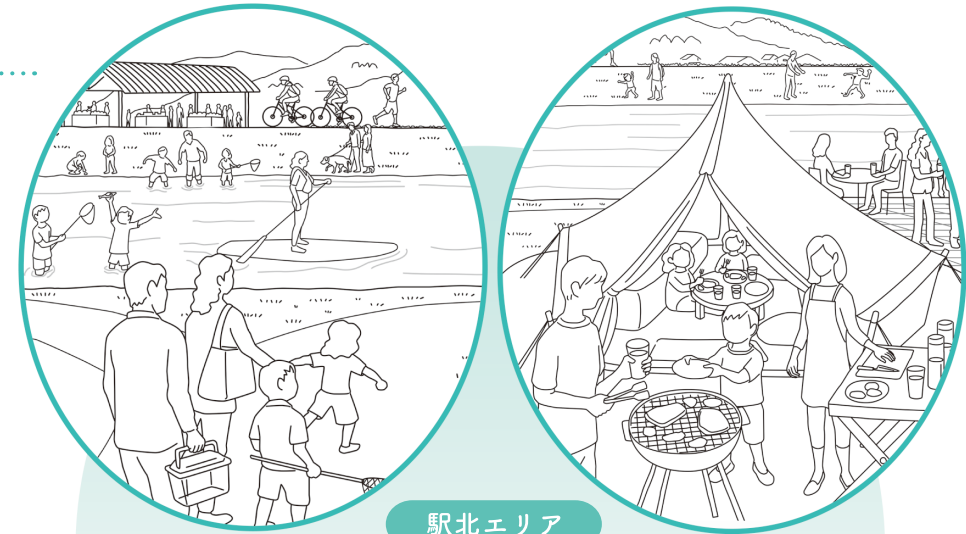
- 1 豊かな自然を活かした、五感を刺激する多種多様なアクティビティが展開されるイメージ。
- 2 散歩やジョギングを楽しむなど、男山と三川合流の自然を身近に感じ、四季の移ろいを味わいながら、生活を営むことができるイメージ。



東高野街道があり町家が多く立地、
落ち着いた居住環境を有する
門前町エリア

門前町魅力アップ
チャレンジゾーン

- 1 歴史的な街並みを活かし、古民家をリノベーションした店舗や宿泊施設などが立ち並び、住民の生活利便性向上を図りつつ、生活環境を守りながらにぎわう空間となるイメージ。
- 2 空き家や駐車場などを活用した、誰もが気軽にチャレンジする場を提供することで、新しい魅力や地域内外の交流が生まれるイメージ。



駅北側エリア

自然共生 アクティブゾーン

観光

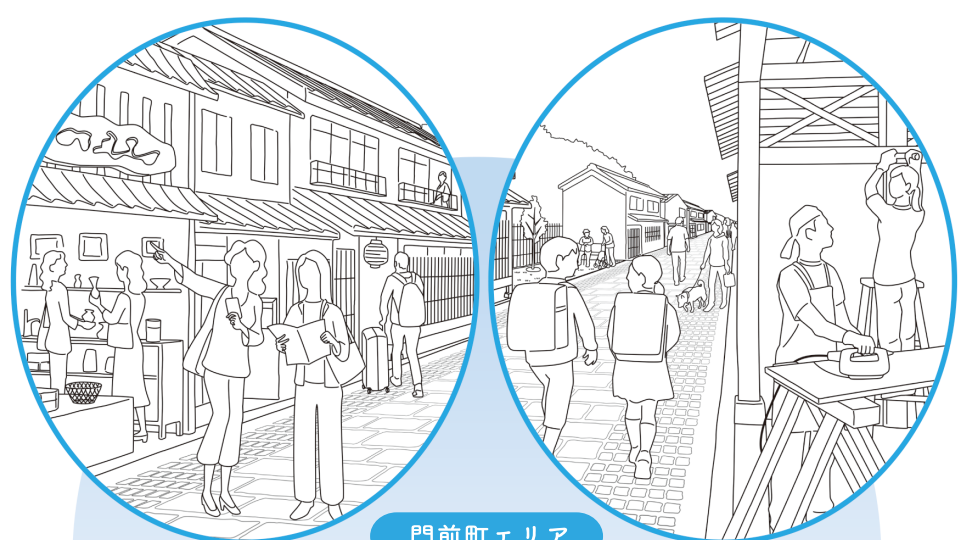
歴史と体験が織りなす
何度でも
訪れたくなるまち

自然環境

環境に配慮した
持続可能な
自然との共生

交流滞在

居心地良い
オープンスペースから生まれる
憩いと交流



門前町エリア

門前町魅力アップ チャレンジゾーン

観光

歴史と体験が織りなす
何度でも
訪れたくなるまち

暮らし

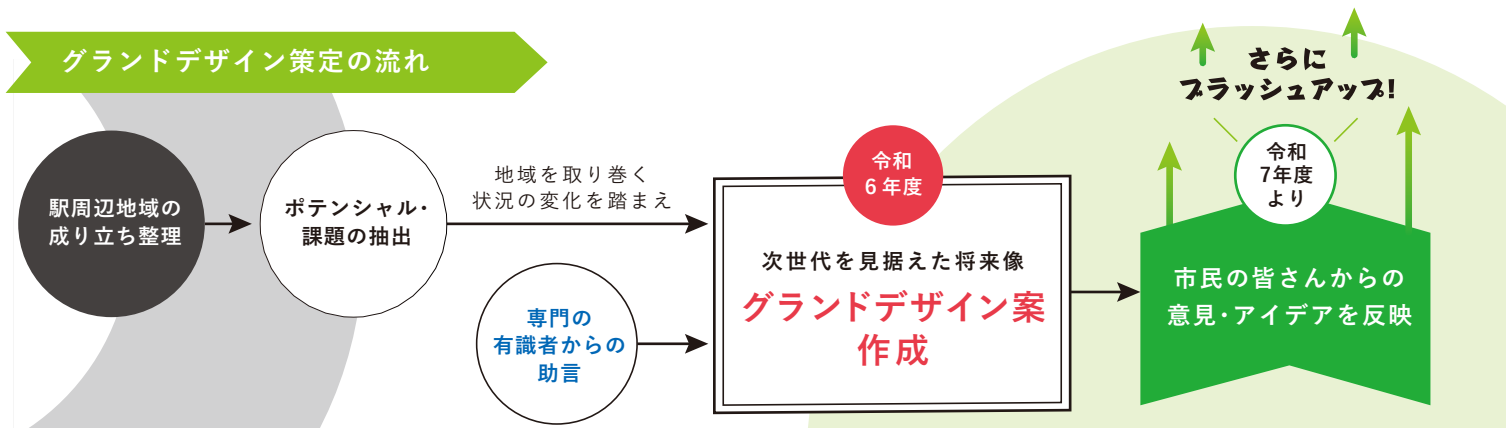
多世代の市民が
豊かに暮らすまち

にぎわい

市民のチャレンジや
子どもたちが創る
にぎわい

ランドデザイン策定の流れ

以下の流れでランドデザインの策定を進め、市民の皆さんの意見やアイデアを反映することでランドデザインに掲げる将来像をブラッシュアップしていきます。



将来像の設定に向けたステップ

ランドデザインの策定にあたり、下記のステップで検討し、石清水八幡宮駅周辺の将来像を設定しました。

STEP 1

門前町としてにぎわった歴史、石清水八幡宮を中心とした歴史資源、豊富な自然環境などの数え切れないほどのポテンシャルを秘めた地域であることを再認識し、さらに新たな地域の魅力や特徴を発見する。

STEP 2

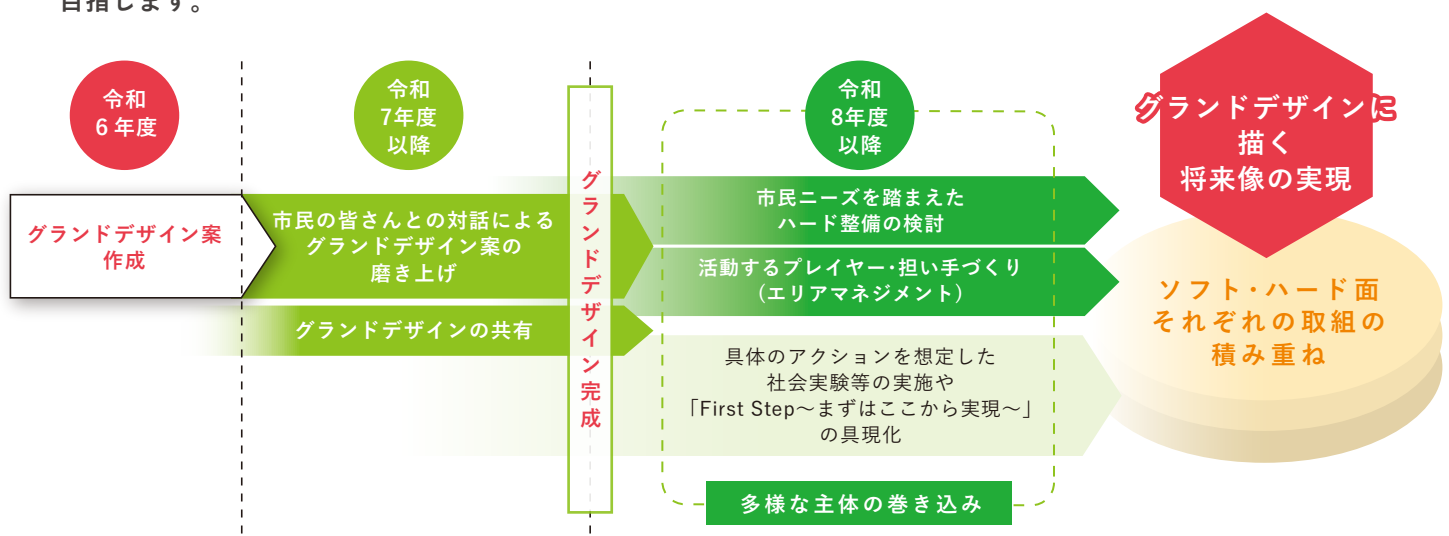
石清水八幡宮駅周辺における各ゾーンの特徴を再確認し、ゾーンごとの特徴を最大限に生かした将来像をイメージする。

STEP 3

将来、各ゾーンで実現したい具体的なシーンを想像する。また、自分がやってみたいこと、できそうなこと、次世代に向けて地域の魅力アップになることをイメージする。

ランドデザインの実現プロセス

今後、市民参加のワークショップ等を行うなかで地域の将来イメージを具体化し、市民や事業者等と協働して実現を目指します。



さあ、このランドデザイン案を持って、
石清水八幡宮駅周辺へ出かけてみませんか？